

令和2年度

# 江別市立病院 決算概要

## ▼令和2年度決算概要

収益は、新型コロナウイルス感染症の影響で外来患者数が著しく減少したものの、入院患者数が前年度を上回ったことにより、病院事業収益全体では前年度から約3億1,000万円の増収。

費用は、感染症対応に伴う手当などにより給与費が増加したものの、診療材料や医薬品の価格削減に取り組むことで材料費が大きく減少し、病院事業費全体で、前年度から約5,400万円の減少となりました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のまん延という経験したことがない事態のなか、市民にとって必要な医療を守るため、感染症対策を行いながら日々の診療を継続し、市立病院としての役割を果たすべく取り組みました。

## ▼経営再建への取り組み

市立病院の最重要課題である診療体制の整備について

は、医師招聘を担う専任部門として経営推進監と市立病院顧問を設置し、大学医局を複数回訪問して医師の派遣要請を継続的に実施したほか、民間病院への働きかけや人材紹介会社の活用などに継続して取り組みました。その結果、4月に消化器内科医1名、3

月に副院長格の医療監として内科医1名が着任し、内科体制の強化につながりました。

このほか、医師の負担軽減を図るため、大学医局からの夜間・休日における日当直の出張応援を拡充するとともに、医師事務作業補助者の体制を強化し、対応業務の拡大に取り組んでいます。

また、令和5年度での収支均衡を実現すべく、集中改革期間において取り組む主要な項目の各種取り組みを開始しました。主な取り組みは、「稼動病床規模の適正化」「看護体制の抜本的見直し」「院長を中心とするガバナンスの強化」などです。

## 令和2年度決算と前年度との比較

| 区 分    | 令和2年度      | 令和元年度       | 比較増減      |
|--------|------------|-------------|-----------|
| 病院事業収益 | 57億5,100万円 | 54億4,100万円  | 3億1,000万円 |
| 病院事業費用 | 64億6,800万円 | 65億2,200万円  | △5,400万円  |
| 単年度純損益 | △7億1,700万円 | △10億8,100万円 | 3億6,400万円 |

| 区 分         | 令和2年度      | 令和元年度        | 比較増減       |
|-------------|------------|--------------|------------|
| 一般会計繰入金     | 15億9,200万円 | 14億700万円     | 1億8,500万円  |
| 通常分         | 14億6,500万円 | 14億700万円     | 5,800万円    |
| 新型コロナ対策分    | 1億2,700万円  | -            | 1億2,700万円  |
| 一般会計長期借入金   | なし         | 13億円         | 皆減         |
| 累積欠損金       | △119億800万円 | △111億9,100万円 | △7億1,700万円 |
| 不良債務残高      | 8億8,700万円  | 10億3,800万円   | △1億5,100万円 |
| 一般会計長期借入金残高 | 22億7,600万円 | 22億7,600万円   | -          |

令和2年度の繰入金は前年度より1億8,500万円増加していますが、うち新型コロナウイルス感染症対策にかかる国の地方創生臨時交付金による対応が1億2,700万円ありました。

※ 一般会計繰入金通常分に、医師確保対策にかかる経営再建支援補助金として3,200万円が含まれています。

| 区 分   |    | 令和 2 年度                    | 令和元年度                      | 比較増減                         |
|-------|----|----------------------------|----------------------------|------------------------------|
| 延患者数  | 入院 | 66,241 人<br>(181.5 人 / 日)  | 63,350 人<br>(173.1 人 / 日)  | 2,891 人<br>(8.4 人 / 日)       |
|       | 外来 | 122,474 人<br>(504.0 人 / 日) | 135,025 人<br>(560.3 人 / 日) | △ 12,551 人<br>(△ 56.3 人 / 日) |
| 病床利用率 | 一般 | 67.9%                      | 63.4%                      | 4.5 ポイント                     |
|       | 精神 | 79.5%                      | 44.5%                      | 35.0 ポイント                    |
|       | 全体 | 69.5%                      | 59.5%                      | 10.0 ポイント                    |

【病床利用率は休止病床を除いて計算しています】

※ 令和元年11月から一般病床237床(△41床)

※ 令和2年4月から一般病床224床(△13床)、精神病床37床(△12床)

さらに、病院全体で経営再建に向け、看護相談室やもの忘れ外来の設置、院外処方の推進や健診センターの設置などの取り組みを進めました。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症による病院経営への影響が著しい中において

ですが、市民および近隣住民の皆さんに持続可能な医療を提供できるよう、職員一丸となつて集中改革期間の経営改善を着実に進めてまいります。

【詳細】市立病院管理課財務係  
382-5151



# 令和2年度 点検・評価に関する意見概要

## ▼外部委員による 点検・評価

市では、市立病院の経営再建を着実に推進するため、令和2年8月に、外部委員により構成される「江別市立病院経営評価委員会」を設置し、経営再建の進捗状況について点検・評価を受けています。経営評価委員会は、これまで5回開催され、令和3年度第2回委員会（8月18日書面協議により開催）において、「令和2年度点検・評価に関する意見書」を取りまとめ、市に提出しました。

## ▼総合評価意見

意見書では、左記の総合評価意見をいただきました。また、令和3年度に向けた提言もされていますので、詳細はホームページをご参照ください。

### ●意見書内容

令和2年度決算の収支改善額が、当初目標（5・6億円の改善）を下回ったため、総合評価は「C」とする。

しかしながら、市立病院が担うべき医療の重点化、診療体制の確立、経営体制の構築などの取り組みは着実に進んでいる。特に、下半期においては、収支改善の効果が現れており、令和5年度における収支均衡の実現に向け、経営再建が一定の成果をあげつつある。

新型コロナウイルス感染症の影響で、大幅な収支悪化が見込まれたものの、病院職員の努力により、前年度決算と比較し、収支が改善した。

また、感染症対応と一般医療の提供を両立すべく取り組み、地域医療の確保に積極的に貢献した。



▲ 8月24日(火)、経営評価委員会から点検・評価に関する意見書が手渡されました

## 市立病院 経営再建についての市民説明会を開催しました

7月20日(火)、市民会館にて市立病院経営再建の取り組みについての説明会を開催しました。詳細は、市立病院ホームページをご参照ください。



### 【参加者の主なご意見（抜粋）】

- ・地方公営企業法の全部適用に移行することで経営方法は変わるのか、具体的に期待される効果は。
- ・医師確保の今後の考え方は。
- ・市内開業医との連携が重要と思うが、具体的にどう連携をとっていくのか。
- ・黒字経営の道内公立病院と比較して何が違うか検討しているか。

※ 意見交換の概要は市立病院ホームページで公表しています。

## 江別市立病院

〒067-8585 江別市若草町6  
☎ 382-5151 FAX 384-1321  
<https://www.ebetsu-hospital.jp>



|         |                   |   |
|---------|-------------------|---|
| 個別項目の評価 | ① 市立病院が担うべき医療の重点化 | C |
|         | ② 診療体制の確立         | B |
|         | ③ 経営体制の構築         | B |
| 総合評価    |                   | C |

※ 経営再建の進捗状況【評価基準】

予定以上…A 概ね予定通り…B 予定よりやや遅れ…C 予定よりかなり遅れ…D

## 令和2年度 収支改善の要因分析

令和2年度は令和元年度と比べ、約3.6億円収支改善しています。

下図は、その差がどのように発生したか、要素ごとに見やすくした図です。

(単位:千円)

